Luci Power FLEX α

ルーチ・パワーフレックス アルファ

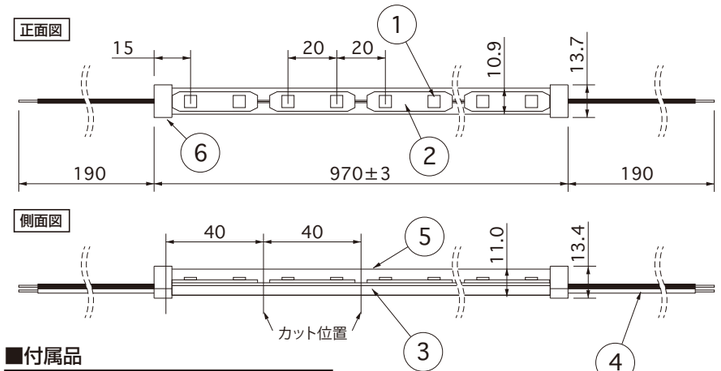
取扱説明書

株式会社 ルーチ
〒107-0052　東京都港区赤坂4-13-13　赤坂ビル4F
TEL：03-6327-7409　FAX：03-6327-7410
URL：http://www.luci-led.jp/

製品仕様 ※単位：mm

【LFPA20-0960-∗-CL-I】

正面図



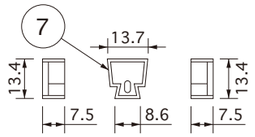
正面図

定格入力電圧
DC24V

番号	部品名	材質など
①	LED	SMD/トップビュータイプ
②	LED 基板	PCB
③	フレキシブル基板	FPC
④	リード線	UL1007　AWG22
⑤	本体	軟質アクリル　透明
⑥	トップキャップ	ポリカーボネート 透明
⑦	エンドキャップ	ポリカーボネート 透明
⑧	取付けレール 900	AES　白
⑨	取付パーツ	AES　白
⑩	取付クリップ	ポリカーボネート 透明

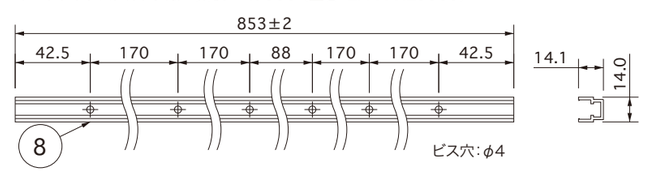
■付属品

パワーフレックスアルファ用
エンドキャップ　(型番：LFPA-EC　2個/1袋)

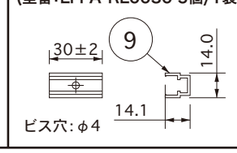


■オプション品

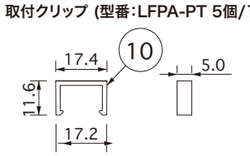
パワーフレックスアルファ用　取付レール900 (型番：LFPA-RL0900)



パワーフレックスアルファ用
取付パーツ
(型番：LFPA-RL0030 5個/1袋)



取付レール・パーツ付属品
パワーフレックスアルファ用
取付クリップ (型番：LFPA-PT 5個/1袋)



項目	ルーチ・パワーフレックス アルファ		
型番	LFPA20-0960-∗-CL-I	LFPA20-0960-R/Y-CL-I	LFPA20-0960-B/G-CL-I
消費電力	10.0W	6.3W	8.8W
消費電流	440mA（最大）	264mA（最大）	245mA（最大）
LED数	48灯		
質量	60g		
使用環境	屋内（結露無きこと）		
周囲温度	0℃～+35℃（結露無きこと）		
最大直列連結数	5m		
材質（本体）	軟質アクリル		
最小曲げ許容範囲	R300mm		
付属品	パワーフレックス アルファ用 エンドキャップ 2個		
オプション品	取付レール, 取付パーツ, 封止用接着剤		
調光	調光可		

光源色 (∗)
N(昼白色),W(白色), WW(温白色), L30(電球色3000K),L27(電球色2700K), L24(電球色2400K),L21(電球色2100K), L19(電球色1900K), R(赤),B(青),Y(アンバー),G(緑)

電源の選定	
接続総数 * =複数系統の場合	
通常時	調光時
2m	1.5m
3.3m	2.5m
5m	4m
6.6m *	5.5m *
10m *	8.5m *

⚠ 安全にお使いいただくために

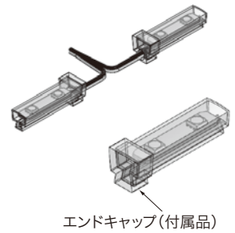
ご使用になる方やほかの方々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。
以下の注意事項に反する使い方をすると、破損・感電・発煙・発火の原因になります。

⚠ **本灯具の施工・点検には、電気工事の資格が必要です。**
必ず工事店・取扱店に依頼してください。

DC24Vの電源でご使用ください。AC100Vなど、ほかの電源には絶対に接続しないでください。

施工・点検時には必ず主電源を切ってください。
本灯具に通電したまま、本灯具に結線したり、本灯具を切断したりしないでください。

⚠ 本灯具を専用電源に接続する際には、専用電源の極性(＋・－)と本灯具のリード線の(＋・－)を合わせてください。
逆電圧を印加し続けた場合、LEDに逆順電圧がかかると、製品が破損します。
本灯具のリード線を結線する際は、同じ色のリード線どうしを繋ぎ、スリーブ・絶縁テープ・伸縮チューブなどで絶縁処理をしてください。



布や紙などの可熱物や、断熱材を灯具の上に置いたり被せたりしないでください。不点灯や火災の原因となります。
灯具の隙間に金属や燃えるものを入れないでください。
灯具本体外郭を天井内外の設備に触れさせないでください。落下や感電、火災の原因となります。
濡れた手で作業しないでください。感電の原因となります。

⚠ 本灯具を切断する場合は、エンドキャップ（付属品・オプション品）を切断箇所に接着して絶縁処理をしてください。

本灯具は、次のような環境でご利用にならないでください。
・高温（35℃以上）になる場合
・湿度の高い場所
・粉塵が多い場所
・腐食性ガス・可燃性ガスなどが発生する場所
・直射日光の当たる場所
・気密性の高い場所
・海水や有機溶剤に直接さらされる場所
・電界や磁界の影響を受ける場所

本灯具に、次のような行為を行わないでください。
・カットマーク以外の箇所で切断する
・分解や改造する
・無理にひっぱる、ねじる
・押さえつける
・最小曲げ許容範囲（R300mm）を超えて曲げる

⚠ 製品に異常が発生した場合には、すぐに電源を切り、工事店・ご相談ください。電源を切った後は、灯具に手を触れないでください。

ご使用の前にお読みください

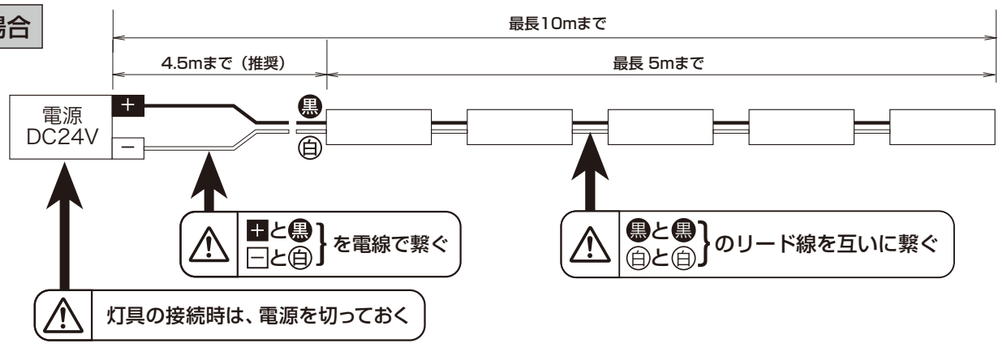
- ●安全上、LED光源を直視しないでください。
- ●本灯具の最小曲げ許容範囲はR300mmですが、無理の無い範囲でお使いください。
- ●気温が低い場所では、本灯具が固くなることがあります。無理に曲げると故障の原因になりますので、電源に接続して点灯させ、本灯具が温かくなるまで待ってから曲げることをお勧めします。
- ●取り扱う際には、製品をねじ曲げたりしないように注意してください。不具合の原因になります。また、天井や棚下、壁面に取付ける際にはたわまないように取り付けてください。
- ●取付箇所への本灯具の取り付けには取付レール（オプション品）をご利用ください。
- ●取付箇所へのオプション取付レールの取り付けには、取付クリップ（付属品）とビス（市販）をご利用ください。
- ●瞬間接着剤を使う場合は、取付レールおよび取付箇所からゴミ、水分、油分をあらかじめ拭き取ってください。接着面が汚れていると、取付レールが外れやすくなります。
- ●十分に配慮・管理して製造していますが、製品の特性上、LEDの色の多少のばらつきは避けられません。ご了承ください。

2015年10月07日 作成
MNL-LFPA20-0960-∗-CL-I

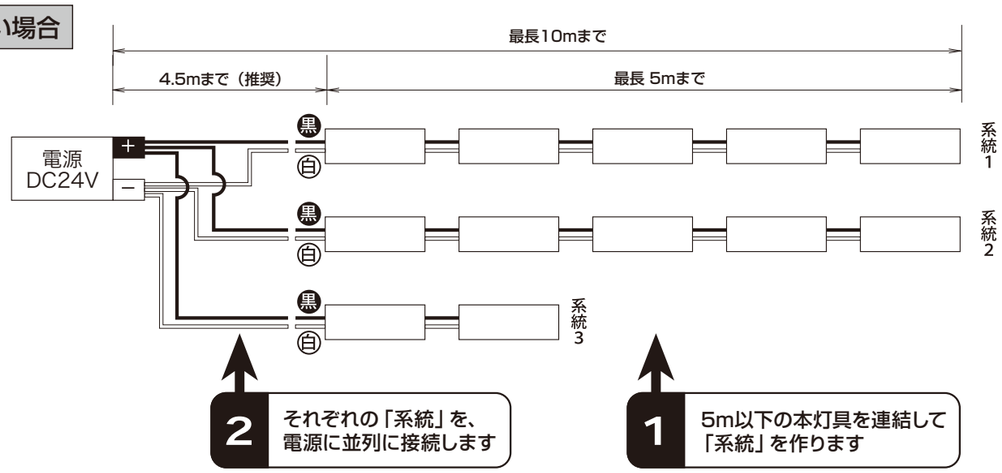
Luci Power FLEX α
ルーチ・パワーフレックス アルファ 取扱説明書

本灯具の連結について

5m以下の場合

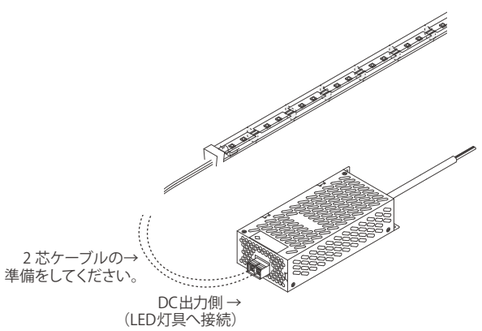


5mより長い場合

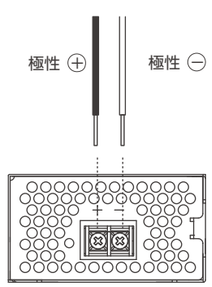


※電源に接続できる本灯具の数は、電源の出力（W）によって異なります。
※ルーチ・パワーフレックス アルファの最大直列連結数は5mです。電源から最後の灯具までの距離は10mとなっております。
※最大直列連結数を超える場合は、複数に系統分けして接続してください。

電源との接続



例:150W専用電源 接続部詳細

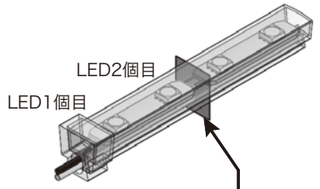


■配線をおこなう際、入力と出力に使用するケーブルには十分に注意をはらって選定してください。
長いケーブルに電流を流すと抵抗などが原因で損失(発熱)を生じ、照度低下の可能性があります。

■ケーブルは束ねると放熱が悪くなり、非常に高温になります。
束ねるときは負荷率(接続灯数)を下げて接続してください。

本灯具の切断 別紙参照

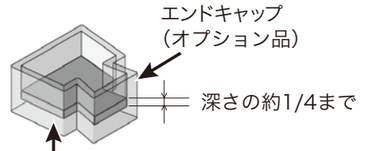
LED2個ごとに切断することで、本灯具を短くできます。



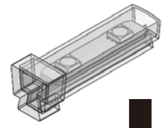
1 ここで切断できます

2 エンドキャップに封止接着剤を注入

3 本灯具の切断部を差し込む



封止用接着剤（オプション品）
※接着材は、アクリル製品対応品を推奨します



4 数時間、待って乾燥させる

ルーチ・パワーフレックス アルファの切断の最小単位はLED基板（LED2個）ごとです。
切断箇所を誤りますと、不点灯の原因となりますので、お間違えのないよう、お気をつけください。

本灯具の設置 別紙参照

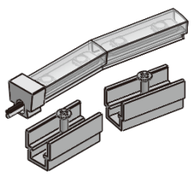
曲げ使用の場合

ビス留め
取付パーツ、取付クリップを施工条件に応じて必要な箇所に固定してください。

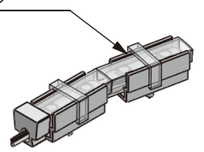
・パワーフレックス アルファ用
取付パーツ（LFPA-RL0030）

・パワーフレックス アルファ用
取付クリップ
（LFPA-PT）

・市販ビス
（ナベビスM3推奨）
（ビス穴φ4mm）



レールとセットの取付クリップ



⚠ **灯具を逆さに設置する場合は必ずクリップをお使いください。脱落の恐れがあります。**

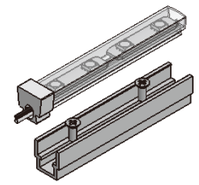
直線使用の場合

ビス留め
取付レール900、取付クリップを施工条件に応じて必要な箇所に固定してください。

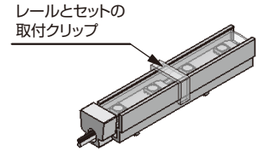
・パワーフレックス アルファ用
取付レール900
（LFPA-RL0900）

・パワーフレックス アルファ用
取付クリップ
（LFPA-PT）

・市販ビス
（ナベビスM3推奨）
（ビス穴φ4mm）

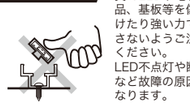


レールとセットの取付クリップ



⚠ **灯具を逆さに設置する場合は必ずクリップをお使いください。脱落の恐れがあります。**

⚠ **注意**
灯具をレールには め込む際は指や工具でLEDや電子部品、基板等を傷つけたり強い力で押さないようご注意ください。
LED不点灯や断線など故障の原因となります。



レール取付時に特に注意する点

⊘ **レールに対し 長て方向に 押し込まないでください。**

ご注意ください！水平方向の引っ張る力が長時間加わると、断線による不点灯など灯具破損の原因となります。

- レールにチューブを装着する際にチューブの側面から入れてください。 （注１）
- ローラー、その他工具等を使用し、レール長て方向へ延ばしながらの装着はしないでください。
- チューブを押し入れる際は側面から親指でレールに直角になる方向で押してください。
- チューブが軟質素材のため、ＬＥＤが搭載されている上面にはストレスを加えないでください。
- チューブを取り外す際はレールとチューブの間に指を入れゆっくりと引き剥がすようにしてください。